

## 2017年度 放送番組審議会議事録

【開催日時】 2017年11月30日（木） 午後2時00分～3時30分

【場 所】 株式会社ケーブルネット下関 2F会議室

### 【出席者】

放送番組審議会：7名 ※敬称略・順不同

#### 会 長

高山 剛 （下関商工会議所 事務局長）

#### 委 員

沼 孝宏 （サンデン交通株式会社 取締役総務部長）

砂原 雅夫 （下関市立大学 理事（事務局長））

山本 昌信 （林兼産業株式会社 常任監査役）

中野 浩幸 （株式会社山口銀行 取締役本店営業部長）

広瀬 誠 （株式会社みなと山口合同新聞社 執行役員山口新聞営業局長）

村上 治城 （下関市総合政策部 部長）

#### 放送番組審議会事務局：5名

鳥居 吉治 （株式会社ケーブルネット下関 代表取締役社長）

藤野 悦郎 （株式会社ケーブルネット下関 常務取締役）

仲川 圭 （西日本メディアセンター センター長）

井手 誠也 （西日本メディアセンター アシスタントマネージャー）

山下 真由美 （西日本メディアセンター 制作グループ）

## 【議事内容】

### 1. 開会

1) 会長挨拶 高山会長

2) 新委員挨拶

村上 治城 (下関市総合政策部 部長)

広瀬 誠 (株式会社みなと山口合同新聞社 執行役員山口新聞営業局長)

中野 浩幸 (株式会社山口銀行 取締役本店営業部長)

※宇和島正美委員、辻屋誠委員は退任

3) ケーブルネット下関代表挨拶 (鳥居代表取締役社長)

ケーブルネット下関は、来年で開局 20 周年になる。地域の皆様に支えられ感謝している。弊社はテレビがサービスの軸である。これからも良い番組にしたいと思っている。

※冒頭で、この様子を「デイリーニュース」で取材・放送することをお知らせ。

### 2. 番組編成方針について (仲川西日本メディアセンター長)

西日本メディアセンターは、株式会社ケーブルネット下関の番組を作っている部隊であり、番組内容や番組作りについてご意見をいただきたい。(2017 年資料参照) 自主放送番組であるコミュニティーチャンネルは 2 チャンネルある。J:COM テレビと J:COM チャンネルの違いを説明。

「J:COMテレビ」は全国約 70 局に発信するチャンネル。

「J:COMチャンネル」は各地域に特化した“どローカル”がコンセプト、全国約 70 局で、地域ごとに様々な情報をきめ細やかに発信。(J:COM チャンネル下関のエリアを説明。) 放送エリアに沿った編成をしている。

J:COM チャンネルの 4 つの柱：①デイリーニュースの定着化、②地域行政および地元企業との連携強化、③ど・ローカル番組の拡充と 3 世代視聴対象企画の推進、④バラエティに富んだ特別番組 について説明。

関門海峡花火大会や下関市長選挙開票速報など、さまざまな特番に取り組んできた。

デイリーニュースの放送を 4 月からスタート。これを視聴いただく。

どローカルアプリでも視聴できる (どローカルアプリの紹介)。

1 週間視聴可能。全国的な取り組み紹介。

関門 info で関門連携情報を放送している。

### 3. 2017年度放送番組内容について

#### 1) 2017年度 自主制作番組内容について説明（井手 アシスタントマネージャー）

- ・「デイリーニュース」は11月から週三回に拡充。本数の紹介。
- ・「わくわく一年生」。親子3代で楽しめる番組をと制作。
- ・「下関人図鑑」は市内で活躍するいろんな人を紹介。地域の著名な人、活躍している方などを紹介。出演者本人から、番組の反響があるという声も。
- ・「関門info」は、関門地域のイベント情報などを提供。
- ・「ほっちゃタイム」。文化編が「ほっちゃタイム」で、スポーツは「ほっちゃスポーツ」に分け制作・放送。ダイジェスト放送でより多くの人を登場させている。
- ・「関門海峡花火大会生中継」は、今年は4元中継。各市長のインタビューも。
- ・「下関市長選挙 開票速報（生放送）」を今年初めて実施。  
3月12日午後8時～午前0時すぎまで。
- ・九州・山口エリア共通番組の紹介。「時空の旅人」、「ひと駅歩こう」など。
- ・購入番組の「長州人の生きた道」を紹介。
- ・山口県ケーブルテレビ協議会 共同制作番組として、「やまぐち高校生県議会」、「NHK山口特番」を紹介。12月放送。

#### 2) 2017年度 自主制作番組に対するVTR視聴（20分）と質疑応答

視聴番組は、「下関市長選挙 開票速報」、「デイリーニュース」の2本。

ご意見と回答：

委員 選挙速報はJ:COMでは全国的な取り組みであるのか。

事務局 全国で取り組んでいるが、下関では初めての試み。国政は行わず、地方選挙のみ。

委員 地方選挙の選挙特番は、地元の方にとっては良い情報だと思う。

委員 デイリーニュースのスタジオで、MCの前にある手元各紙のボードの存在が気になる。形やデザインを工夫したらどうか。また、ニュースとニュースの合間のコメントにもっと工夫が欲しい。少し堅い感じの番組に見える。

委員 選挙速報はかたずをのんで見ていた。長府の取り組みは、日ごろから取材でよく取り上げてもらっている。知った人を探したりしてつい見てしまう。来年の維新150周年にちなんだイベントなども取材してほしい。

「空中散歩（空撮・ドローン）」や「下関スケッチ」を楽しみに視聴している。

委員 選挙速報は見ごたえあり。デイリーニュースもJ:COMならではのコメントもしっかり生かした放送をしている。

委員 選挙速報は5時間放送したということで、よく放送するネタがあったものと感じ。街頭インタビューもあったが、今後もコミュニティーチャンネルの番組を通してそのような市民の想いをもっと知りたい。

事務局 市長選挙は、接戦で大変であった。編成を変えるのは大変だが、それでも通常編成を飛ばしてまでも放送するべきだと思って当確情報が出るまで放送した。

委員 途中、選挙放送延長の告知はしたか。突然再開したが。

事務局 編成変更の時間がギリギリになってしまい、午後10時からの通常番組が始まってしまった。それで午後10時30分から選挙放送を再開した。

委員 選挙速報の特番を始めたことは、大変であっただろうし勇気あると思う。

事務局 放送することが目的というより、地方選挙の投票率を上げるために貢献すべき。地元企業として地域のためにすべきことを実行し地域と共に成長していくべきだと考える。また、そんな地域連携を常日頃、考えている。

委員 先日は、デイリーニュースで車のナンバープレートのデザインの市民投票を告知した。その影響か投票数も増えた。感謝している。

### 3) 2018年の編成方針

仲川 J:COMチャンネルの2018年度編成強化ポイントは、3本柱である。

- ① 地域情報番組の拡充。レギュラー番組を確立、見てもらえる工夫。  
「下関人図鑑」、「わくわく1年生」も地域と連携し今後も続けたい。
- ② 自治体連携の強化と地域活性化に貢献する。  
タイムリーな自治体情報の発信と、災害情報の放送、また地域活性化につながるような番組を放送したい。
- ③ 特番関連番組を拡充。生中継をもっと広げ充実させたい。山口県ケーブルテレビ協議会を通じた番組制作をうまく活用したい。  
地域プロデューサーと連携しながら新たな特番に取り組みたい。

### 4. 最後に全体的に感想を。

委員 この2年間で放送番組の内容が格段に良くなった。関門情報、デイリーニュースなど素晴らしいと思う。NHKなどの番組のように、お目当ての番組の放送時間になったらすぐにチャンネルを変えてもらえるなど、放送して当たり前のような存在の番組にしてほしい。

委員 デイリーニュースは、よく取材している。対象の取り組みについて丁寧にとらえている。地域と御社との縦横のネットワークが増えていけると期待できる。

以上